

自分なりの技術書をつくりたい

宇佐見公輔 / 株式会社ゆめみ

2023-11-16

自己紹介

- 宇佐見公輔（うさみこうすけ）
- 株式会社ゆめみ / iOSテクリード
- 技書博9にサークル参加（予定）

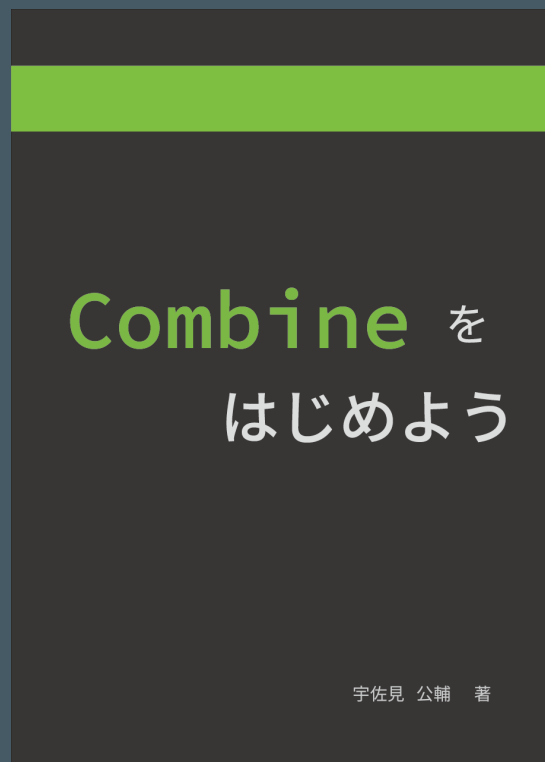
自分なりの技術書をつくりたい

え-10 Type D4 Lab



iOS / Swift

既刊



新刊

- わかりやすい技術書を書く考えかた
- これまでどう考えてきたかを書いた

自分なりの技術書をつくりたい

わかりやすい 技術書 を 書く考えかた



宇佐見 公輔

わかりやすい技術書

- 書いてきた技術書について、分かりやすいと評価いただけている
 - 自分なりに気を配っていたポイントなのでありがたい
- ところで・・・
 - 分かりやすい技術書とは何か？
 - あるいは、読みやすい技術書とは何か？

自分が学んだ経験を振りかえる

- 何かを学ぶために技術書や技術記事を読んだ経験は誰もある
- そのときに、自分がどんなことで苦労したか？
 - よくないパターンを考えてみる
 - その逆として、良いパターンが見えてくる

よくないパターン1：途中で詰まる

- 前提知識が足りなくて、読み進められない
- 具体的な話になかなか入らなくて、もやもやする
- サンプルコードが長くて、大事な箇所がどこかつかめない
- 一度にたくさんのことを説明されて、混乱する
- 話の流れにギャップがあって、ついていけなくなる

よくないパターン2：途中で飽きる

- 説明が後回しのまま単純作業が続いて、疲れる
- 知っている話が続いて、新しい学びが感じられない
- 同じ話がくりかえされて、飽きて読まなくなる

自分にとっての理想の技術書

- 実は結構、技術書を読むときに苦勞している
- 後になってから、こんな解説があったら良かったなと思う
 - 最初からこう書いてくれていると苦勞しなかった、など
- 自分にとっての理想の技術書がほしい
- 自分なりの技術書を、自分でつくろう

技術同人誌をつくりはじめる

- 理想は目指しつつ、ハードルは低く
- 想定する読者は（昔の）自分
 - ひとまず、対象読者層などはさほど気にしない
- テーマは自分が書きたいもの
- 前提条件なども、自分の書きたいものに合わせて決める

自分なりの技術書としてこだわる点

- 途中で詰まらなくて読み進められる
- 最小限の知識を得られる
 - その先は自分で楽に調べられる、というレベルまで導く
- より高いレベルは無理に目指さない
 - 難しいことを無理に詰め込まない
 - 他の本や記事が楽に読めるようになっているので問題なし

最初の本の場合

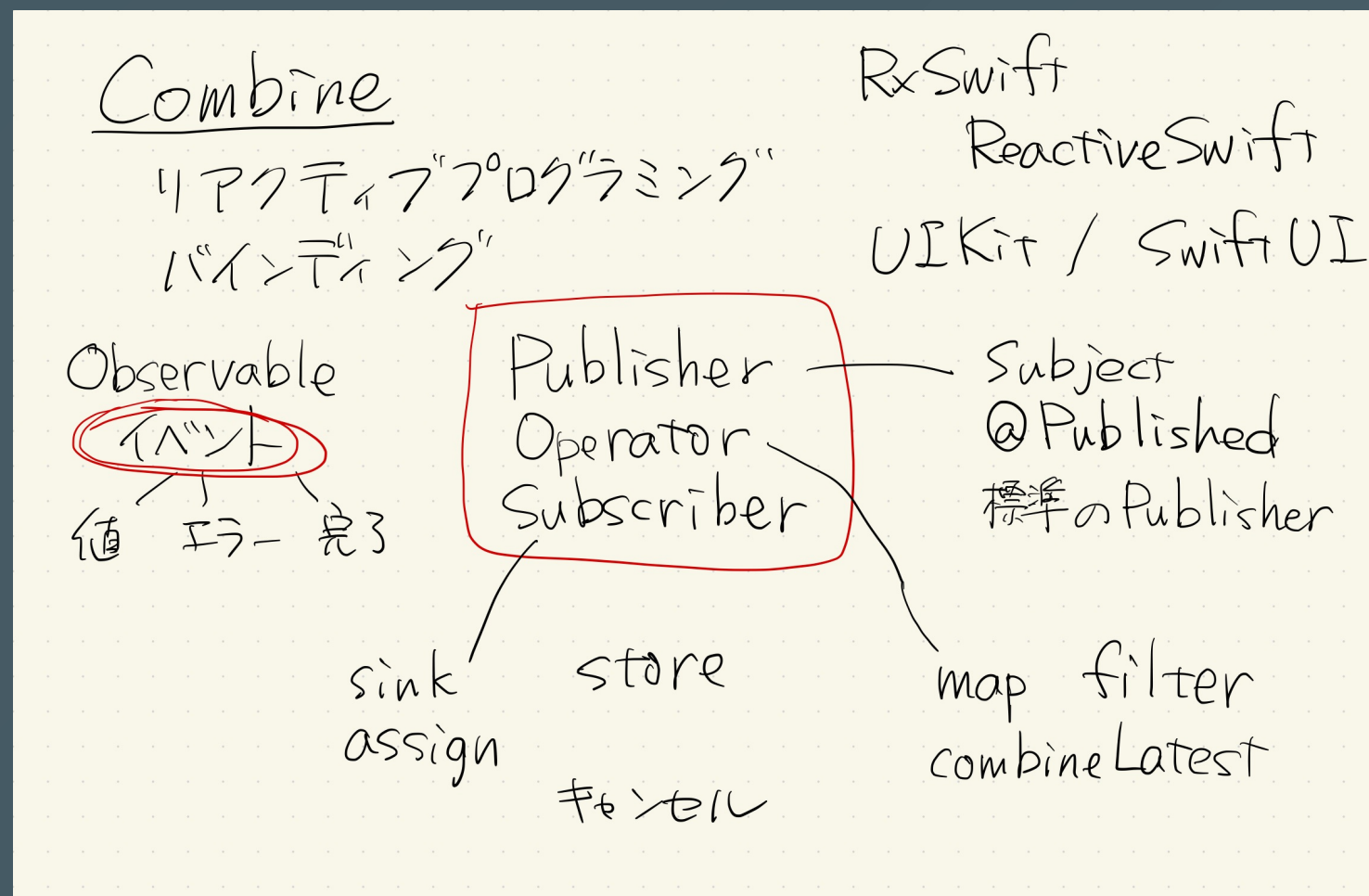
- 自分が学ぶときに苦労したことは？
 - 動くコードが欲しい
 - 基本的な概念の説明が欲しい
- それらを飛ばして、少し進んだ点を解説している本や記事が多かった印象がある
 - その気持ちはわかるけども

Combine を
はじめよう

宇佐見 公輔 著

全体構成を 考える

- ひとまず説明したい要素を挙げてみる
- 軸となる項目を選ぶ
- ひとつの概念の説明に一章を割く



重要なポイントを考える

- 今回は、最初の部分を書きたいポイントのひとつ
- 動くコードを最初に見せるというコンセプト
- ミニマムなサンプルコードを作ることにより時間を割く
- 一度にひとつの概念だけ説明することを意識する

1冊目の完成とそれ以降

- 全体構成と重要なポイントを押さえたら、あとは書く
 - 無事に1冊目を完成
- その後も基本的には同じ流れで書いている

まとめ

- 自分が欲しい技術書を自分で書く
- 自分が苦勞したところを整理して分かりやすく書く
 - 最初からこう書いてくれているならば自分は苦勞しなかった
- それが自分なりの技術書